

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成27年度農作物病害虫発生予察情報について

平成27年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号を発表したので送付します。

平成27年度農作物病害虫発生予察特殊報第2号

平成28年3月22日
徳 島 県

1 病害虫名

ハウレンソウベと病(レース13) *Peronospora effusa* (Greville) Cesati(race13)

2 発生作物

ハウレンソウ

3 発生地域

徳島市

4 発生の経過

ハウレンソウベと病は、本県では平成6～7年にかけてレース4、平成13年にレース5(特殊報の発表は平成14年4月)、平成19～20年にかけてレース6あるいは7(特殊報の発表は平成20年4月)、平成22年にレース8(特殊報の発表は平成22年11月)の発生を、それぞれ確認している。その後はレース10抵抗性品種の導入が進んだことにより、本病はほぼ沈静化していた。

しかし、平成27年12月16日に徳島農業支援センターから、徳島市国府町で栽培中のハウレンソウベと病レース1～12に抵抗性を持つ品種‘新鮮緑7’に本病が発生していると検体の持ち込みがあった。

新レースの発生が懸念されたため、農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所にレース検定を依頼したところ、ハウレンソウベと病菌レース13であると判明した。

5 対策

- (1) 品種は‘スーパーヴィジョン’、‘アイルトン9’等、本病レース13に抵抗性があるものを利用する。作型等の関係で作付けできない場合には、薬剤による防除を徹底する。
- (2) 本葉への感染を抑制するため、薬剤は予防的に用いる。薬剤散布時には下葉や葉裏にもよくかかるよう、丁寧に散布する(薬剤は、表1を参照)。
- (3) 罹病株を圃場に放置すると次作の第一次伝染源となるので、発病株は速やかに処分する。また、春先に萎縮して奇形となった株も本病に感染しているので、速やかに処分する。
- (4) 防除等の詳細については、県植物防疫指針を参照する。



図 ホウレンソウベと病の発生状況 (徳島市)

表1 ホウレンソウベと病登録薬剤(2016年3月17日現在登録内容)

農薬名	希釈倍数	散布液量	使用時期	使用回数	使用方法
ユニフォーム粒剤	9kg/10a		は種時	1回	全面土壌混和
コサイド3000	1000倍	100～300L/10a	—	—	散布
アリエッティ水和剤	1500倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布
ヨネポン水和剤	500倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布
ライメイフロアブル	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布
ランマンフロアブル	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布
レーバスフロアブル	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布